

2011/3/30

県	組織	建物	職員	調査船	調査船運航見通し
青森県	産業技術センター 水産総合研究所	被害なし、一時的に停電。 3/14から通常業務	全員無事	開運丸(208トン):無事 青鵬丸(65トン):無事	重油次第だが、計画通り6月に行う予定。
	食品総合研究所(八戸市)	2階の所長室や図書室は無事だが、1階が壊滅的な被害を受け、研究室や実験室、加工場が使用不能	全員無事		
	下北ブランド研究所(大畑)	無傷			
岩手県	水産技術センター	津波により飼育設備、加工設備、研究事務室1階部分に大きな被害、 研究設備、各種データ等が一瞬で失われた。	全員無事	岩手丸(154トン):無事 北上丸(59トン):無事	4月以降の船舶運航と海洋調査の見通しは未だ立っておらず。 燃油、水、食料の都合がつけば、5月を目標に定線観測は開始したい。 過去からの海洋観測データが消失、
宮城県	水産技術総合センター 本所	1階部分に津波が押し寄せ、器具機器類を押し流す。2階は10cm程度の浸水で済み、パソコン類は無事に回収。	研究職員全員無事。船舶職員は死亡1名、負傷1名、行方不明2名。	蒼洋、拓洋丸、新宮城丸、取締船うみわし、うみたか:使用不能 船内外機船MFRD(3トン):無事	4月以降の船舶運航と海洋調査の見通しは立っておらず。
	水産技術総合センター 気仙沼水試	壊滅状態	全員無事	大型船舶は横倒し	
	水産技術総合センター 養殖生産部種苗生産施設 (谷川)	本館や電気室などの鉄筋コンクリート造りの建物は残ったが、生産棟や屋外水槽は生物ごと全て滅失。 新貝類生産棟も滅失。		船外機船も滅失	
	水産技術総合センター 内水面水産試験場	大きな被害はない模様。	全員無事		
	水産加工開発部(石巻市)	壊滅状態			
福島県	水産試験場(小名浜)	建物はほとんど被害無し。飼育関連施設は復旧困難。	全員無事	いわき丸(159トン):沈没 拓水(30トン):船底を損傷した模様 取締船あづま(50トン):無事	まだ目処は立っていないが5月から拓水を用いた観測に向け準備中。
	相馬支場 水産種苗研究所	全壊 全壊	全員無事 6名の方が行方不明		
茨城県	水産試験場	若干の損傷や漁業無線局の受信用ケーブルの断線等	全員無事	いばらき丸(179トン):ほぼ運航可能 ときわ(59トン):船底が破損、運航開始時期未定 あさなぎ(4.9トン):無事 (那珂湊漁港入り口部に沈船があり、入出港が危険な状況)	4月上旬のいばらき丸観測は現時点では欠側の予定。 5月以降未定。ときわに代わって、いばらき丸での対応もあるが、燃費が悪く経費不足問題あり。
	内水試 鹿島の栽培漁業センター	施設の被害甚大で、研究能力ほぼ喪失 H23年度の生産業務はかなり厳しい模様。	全員無事		
東北水研	本所(塩釜)	建物にはほとんど被害なし。 石巻倉庫に保管中の係留系関連物品が流出。	全員無事	若鷹丸(692トン):概観無事、船底など調査必要。 (塩釜港は大型船航行禁止)	未だ目処が立っておらず。
	八戸支所	被害なし	全員無事		
	宮古	壊滅	全員無事		